

伝説から新説へ

城の山古墳 第6次調査報告

現代		平安時代末期～ 戦国時代	奈良時代	飛鳥時代	古墳時代	原始時代	時代
2012年	2010年	1997年 2005年	11世紀 (1300年前)	668年 (約1400年前)	647年 648年	200年～ (約1700年前)	西暦
第6次調査…墓杭の再確認、棺内の調査	第5次調査…墳丘裾の確認 第4次調査…墳丘の構築方法、埋葬部分の確認	第3次調査…墳丘周辺の調査 第2次調査…墳頂部の調査 ▼一籠山(大塚山)が日本海側最北の前期古墳「城の山古墳」と判明	奥山荘立荘 板額御前が活躍 奥山荘に三浦和田氏入部、戦国時代まで武士回活躍	乙宝寺が建築される	淳足柵 磐舟柵 「越の国から燃える水献上」と日本書紀に記載	縄文時代、弥生時代(1万5千年前)を作り始めるから2500年前)	できごと

●城の山古墳の主な歴史

胎 内市教育委員会では、地権者および新潟県教育委員会の協力を得て、今年の4月中旬より胎内市大塚地区内に所在する城の山古墳の第6次調査を実施しました。当初は、棺内の一部の調査予定でしたが、遺物が連続することから方針を変え、文化庁の承認の後、棺内全部の調査を行いました。

一籠山・大塚山と呼ばれ大男(市報たいない2012.6.15号掲載)によって作られた伝説として親しまれてきた小山です。ぜひこの成果にご注目ください。

調査結果報告

城

の山古墳の発掘について
 ては1997年から行
 つており今回で6回目の調査
 となりました。これまでの調
 査で一籠山は日本海側最北の
 前期古墳であることが判明し
 ていましたが、城の山古墳の
 棺構造などを紐解くのが今回
 の調査の目的でした。

⇨大和政権の北限が書き換
 えられる発見を喜び熱く
 語る小野教育長



もとより、古墳とは畿内・大和政権と同盟関係を結ぶことで築造が許されていた墓と考えられています。

そして、今回の調査で発見した副葬品の数々は、中央政権のあった畿内(現在の奈良県周辺)の古墳と共通していることから大和政権と強いつながりのある人物の墓と考えられます。

同様の副葬品の組み合わせが出土したのは、日本海側では石川県七尾市の国分尼塚古墳が最北となっており、この北限が一気に北へ約

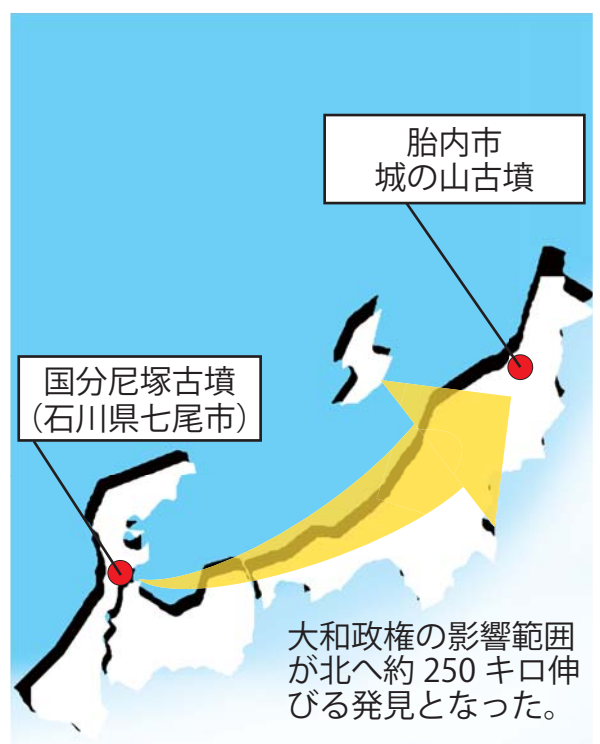
当時の軍事的防衛施設・政府の(こと)などよりも300年以上前に中央政権の拠点があったことを示すものであります。

また、出土した副葬品の翡翠製の勾玉や有機質製の鞍などは工芸的にも優れており全国の前期古墳の基準となりうる重要な出土となりました。

周囲の遺物なども豊富で葬送儀礼の工程など当時を知る貴重な発見も含まれています。

ほ場整備事業や高速道路建築時などの発掘調査で、既に城の山古墳周辺には集落の跡や農耕の形跡が発見されています。これらは今後、当時の中央政権があった畿内から見た北辺や古墳自体の意味合いを解明する手掛かりになるでしょう。

250キロほど伸びたことになり、また、このよう古墳が発見されたことは、文献などで判明していた清足柵や磐舟柵(柵とは城柵の意味で



大和政権の影響範囲が北へ約250キロ伸びる発見となった。

古墳の概要	古墳は東西に41m、南北に35m、高さ約5mの楕円形の円墳。(県内3番目の大きさ) 山頂から約1.5mの深さに、長さ8m、幅1.4m~1.6mの木棺が埋められていた。 前期古墳としては日本海側最北の古墳。
玉製品	翡翠製勾玉1点、緑色凝灰岩製管玉8点、硝子製小玉113点
金属製品	大刀1点(67号)、槍もしくは剣1点(45号、鞘遺存)、鉄製刀子1点、鉈1点、鉄斧2点、その他鉄片多数、銅鏡1面(径約10号、鏡箱と思われる物に入るため種類不明)、有稜系柳葉形銅鍔6点(各口巻・苦側の漆膜遺存)
有機質製品	弓2張(1点は黒色系漆塗膜、1点は赤色系漆塗で木質遺存)、鞍1点(矢を入れる箱、約120号以上)、繊維製品2点と思われる物(約120号×60号)、漆塗製品3点ほか漆塗膜片多数、木の痕跡4カ所、骨1片(周囲に朱)

出土遺物は、1,700年近くも地中あり劣化しております。今後、樹脂等で保存処理をした後公開する予定です。



3



2



1

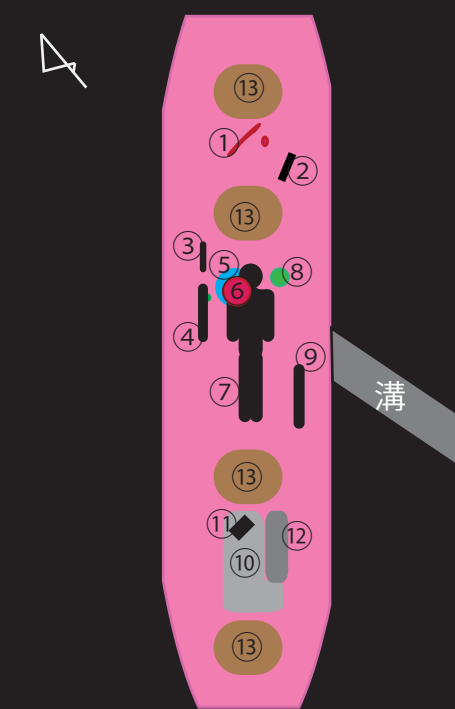
1 2. 1,700年前に作られたとされる城の山古墳の外見写真。色のついた個所から出土があった。3. 9月6日に行われた記者会見の様子。多くの報道陣が集まった。4 5. 木棺部分を掘り出した様子。① 鉈やりのがねと鉄斧②刀子③槍？④大刀と銅鏡まがた⑤ガラス玉⑥朱⑦人体埋葬推定位置⑧勾玉かぎたま・管玉⑨弓矢⑩繊維製品⑪鉄斧⑫靱⑬木質 6. ③槍？(右下)と④大刀と銅鏡(左上) 7. 113個と大量に出土した⑤ガラス玉。8. まだ赤さを残す⑨弓矢。



6



5



舟形木棺

4



8



7

歴史文化体験 イベント情報

日本最古の燃水 体験イベント

- とき 10月13日(土)
午前9時〜午後5時
- ところ シンクルトン記念館
西暦668年、「日本書紀」に「越の国から燃える水献上」とあるのは胎内市黒川といわれ、国史跡「臭水油坪跡」として整備されています。当日は石油の採油体験なども行います。

縄文古代体験
縄文人になろう

- とき 10月27日(土)
午前10時〜午後4時
- ところ 黒川郷土文化伝習館
縄文人の衣装を着て、弓矢、火起し、勾玉づくりなどをを行います。

城の山古墳シンポジウム

- とき 平成25年3月3日(日)
- ところ 産業文化会館
大変貴重な古墳であることをパネラーから分かりやすい言葉で語ってもらい解説します。
- 問い合わせ 胎内市教育委員会生涯学習課文化財係
(内線2325)



10



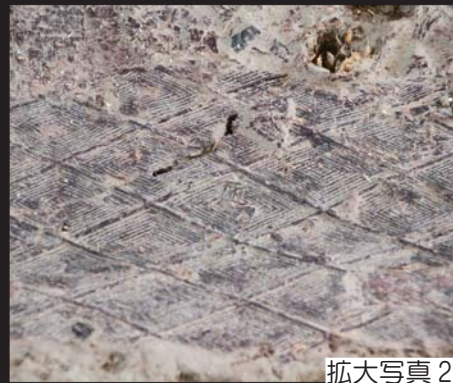
9



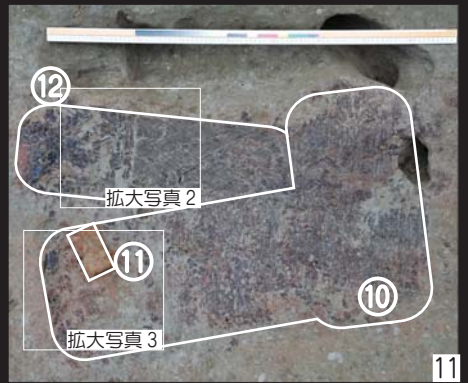
拡大写真1



拡大写真3



拡大写真2



11



12

9. ④大刀と銅鏡。拡大写真1:銅鏡のアップ。10. ⑧勾玉・管玉。翡翠製の勾玉は透明度が高く光が透けるほど綺麗なものです。11. ⑩繊維製品⑪鉄斧⑫鞍。菱形模様がついた鞍が発見されたのは全国で5例目と貴重なものであった。拡大写真2:鞍のアップ。保存状態がよく当時の模様が鮮明に残っていた。拡大写真3:⑩繊維製品に伴う脇板と⑪鉄斧。12. 9月8・9日に行われた一般公開では2日間で約2,000人が来場しました。

大塚地内にて、9月8、9日と一般公開に約2000人

の市内外からの方が来訪したことからわかるように、今この古墳は各方面から大きな注目・脚光を集めています。

これは大和政権が新潟県の北部まで権力を伸ばしていたことが分かっただけでなく、副葬品の貴重さや種類が他の古墳と比べて非常に豪華だったことによります。

▼他の古墳の副葬品に多く見られた三角緑神獸鏡がなかった点や、▼副葬品の数量などから見た他地域の古墳との関係、▼副葬品の配置の違いが示す意味、▼古墳を作る際の土はどこから運んだのかなど多くの謎を生み、より一層注目を集めています。

胎内市教育委員会では、今後整理作業を通じ本古墳の学術的意味を明らかにし、市民の皆さまの思い出のある一籠山(大塚山)を保ちながら史的遺産として公開・活用していきたいと考えております。

●問い合わせ 胎内市教育委員会生涯学習課文化財係 (内線2325)